



8月は、差別をなくす運動月間です

大分県では、同和問題をはじめとするあらゆる差別の早期解決をめざすとともに、一人ひとりが「子どもの人権」「女性の人権」など、いろいろな人権問題に関する理解を深めるきっかけとするため、国の同和対策審議会の答申が出された8月を「差別をなくす運動月間」と定め、啓発活動を行っています。

今年も、同和問題を中心に人権啓発活動や差別問題に対する取り組みを行います。さまざまな人権問題について、あなたの日常生活の中をもう一度見つめる機会にしてください。

期間中、次のイベントを行います。市民の皆様の参加をお願いします。

期間中のイベント

1. 差別をなくす仏の里のつどい

日時	8月5日(金) 午後2時～4時
場所	アストくにさき アストホール
内容	講演会
講師	猿まわし師 村崎太郎氏
演題	トークライブ & 猿まわし

入場無料
です



『橋はかかる ～被差別部落に生まれ育って～』

◆プロフィール

1961年、山口県光市生まれ。17歳で初代次郎とコンビを結成し、日本に絶えた猿まわしを復活。次郎の「反省ポーズ」で全国的な人気者になる。1991年「文化庁芸術祭賞」を受賞。1992年にはアメリカ連邦議会から「日本の伝統芸能」の称号が授与された。2007年テレビプロデューサー栗原美和子と結婚。翌'08年、妻である栗原著の私小説『太郎が恋をする頃までには…』で、被差別部落出身であることを公表。'09年には、自らが被差別部落民の経験を執筆した『ポロを着た王子様』を出版。ここ数年は次郎と共に、日本各地の小規模集落、ハンセン病療養所、原爆被爆者の皆さんなどを訪ねる出合いの旅を続けている。

2010年6月に夫婦共著で『橋はかかる』を出版し、部落問題に関して新しい視点で言及し、話題を呼んでいる。同著は、全国学校図書館協議会の選定図書と認定されている。

問い合わせ 国東市人権・同和対策課 ☎0978-72-0354

2. 「差別をなくす運動月間」県民講座

日時	8月3日(水) 午前9時45分～午後4時	場所	大分市コンパルホール
内容	人権講演会とワークショップ		

- 講演会 [文化ホール] 午前10時～11時20分
講師 大阪大学大学院 人間科学研究科教授 平沢安政氏
演題 『豊かな人権文化の創造にむけて』
- ワークショップ [多目的ホール] 午後1時～4時
講師 みえ人権教育・啓発研究会 代表 松村智広氏
テーマ 『へこたれへん ～人はきつとつながれる～』

入場無料
です

問い合わせ 大分県人権・同和対策課 ☎097-506-3177

国東市隣保館
問い合わせ
☎0978-68-1722

7月21日(木)
午後2時～4時
◎同和問題学習会
(隣保館)

お知らせ

～第4回 国東市隣保館まつり
「こころの川柳」応募作品～

自分を知り思う相手の心知る

国東町 佐藤 征一郎

あなたはね わたしにとってたからもの

武蔵町 社藤 実咲